

公益財団法人 日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

2018年度 事業報告

1. 事業概況

当財団の「海陸ニュー・シルクロード」構想推進とも連携し、関連するエネルギー国際輸送、クラ運河、北極海航路開発等のインフラ推進に、様々な動きが生じた。

また、当財団が設立基本構想の一部として当初より注目する情報化とインフラストラクチャーの融合は、5G時代を迎えた。本年度は、専門家と共同で、ビッグデータやAI、またそれらを利用した新たな交通輸送手段が世界のインフラに及ぼす影響等についての研究、政策提言等を行った。

地球規模のエネルギー問題の解決に向けて、再生可能エネルギー・原子力発電技術等の分野を中心とした日露の経済・研究協力関係の構築を引き続き積極的に推進した。

2. 調査研究

2-1) 基本的事項に関する調査研究

- (1) GIF構想対象プロジェクトの研究
- (2) 国際関係とインフラストラクチャーに関する研究

2-2) 個別プロジェクトに関する研究

(1) 地球環境改善

- アラル海地域の環境改善

(2) 資源・エネルギー問題

- 東ヒマラヤ水系水資源開発
- 原子力エネルギー等エネルギーインフラ開発支援
- エネルギー輸送インフラストラクチャー
- 海洋温度差発電

(3) 交通運輸インフラストラクチャー

- ニュー・シルクロード開発研究
- クラ運河（タイ運河）プロジェクト
- 北極海域交通網整備・資源開発

(4) 生活領域の拡大

- オリノコ・メタ川流域総合開発プロジェクト

3. 国際会議等の開催

4. 人材の育成その他

以上